



2025年10月10日

各 位

会社名 株式会社MS & Consulting
代表者名 代表取締役社長 辻 秀敏
(コード番号：6555 東証スタンダード市場)
問合せ先 代表取締役会長兼経営管理本部長 並木 昭憲
(E-mail ir@msandc.co.jp)

2026年2月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025年4月14日に公表いたしました2026年2月期第2四半期累計期間(2025年3月1日～2025年8月31日)の連結業績予想数値と、本日公表の実績数値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2026年2月期第2四半期累計期間の連結業績予想数値と実績数値との差異 (2025年3月1日～2025年8月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,198	△8	△9	2	3	0.61
実績数値 (B)	1,243	69	68	52	52	12.48
増減額 (B) - (A)	45	77	77	50	49	-
増減率 (%)	3.8	-	-	-	-	-
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2025年2月期第2四半期)	1,109	△47	△48	△25	△24	△5.85

2. 差異の理由

売上収益につきましては、前上半期と比較して顧客満足度覆面調査「ミステリーショッピングリサーチ(以下、MSRという。)」が17.4%増、SaaSは14.0%減、コンサルティング・その他(以下「コンサル」という。)は7.6%増となりました。MSRは海外関連調査が調査時期ズレによって停滞したものの、通常調査は反対に調査の消化が順調に進んだことにより大きく増額しております。SaaSは外食日時決算システムbinoのサービス終了の影響等で減少致しました。注力分野である従業員エンゲージメント調査「チームアンケート」も調査実施時期ズレの影響を受けたものの堅調に推移しております。コンサルは若手の成長もあり、通常コンサルが9.9%増となった他、補助金・助成金支援分野は新たな制度への対応によって82.7%増となっており、当初の予想を上回る結果となりました。

また、全社を挙げて生産性の向上およびコスト抑制を含めたKPI管理を徹底することによって想定以上の成果を上げており、前上半期と比較し、原価が3.2%増、販売費及び一般管理費が1.2%減となりました。原価は、MSRの拡大に伴いモニター謝礼総額は増加したものの、商品仕入・外注費などが低減、

売上収益に占める原価率は 5.9 ポイント低減しております。販売費及び一般管理費は、将来に向けた投資により減価償却費や賃借料は増加しているものの、各種コストダウン策の積み重ねにより総額では減少し、同じく売上収益に占める販管費率は 3.5 ポイント低減致しました。その結果、営業利益以降の各段階利益につきましても、当初の予想を上回る結果となりました。

3. 通期連結業績予想について

通期業績においては、MSRの通常調査において期ズレの影響で上半期に消化が前倒しになっている部分があること、各種コストダウン施策は継続する一方で、2025年10月10日に開示しました「第三者割当による自己株式処分及び第5回新株予約権の発行に関するお知らせ」に記載のとおり、新株予約権の発行諸費用や協業による業績向上計画を進めるための人材投資及び設備投資の発生を考慮し、通期業績予想は据え置きとさせていただきます。今後業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上